第21号様式（第17条の２関係）（用紙　日本産業規格Ａ４縦長型）

診療用高エネルギー放射線発生装置設置届

年　　月　　日

　　　神奈川県　　　保健福祉事務所長　殿

管理者　住　　所

氏　　名

電　　話（　）　―

　　次のとおり診療用高エネルギー放射線発生装置を設置するので、医療法第15条第３項の規定により、届け出ます。

|  |  |
| --- | --- |
| 区　　　　分 | 　　　　新規・更新・移設・その他（　　　　　） |
| 病　院・診療所 | 名称 |  | 病床 | 有（　床）・無 |
| 所在地 | 電話（　　）　　― |
| 診療用高エネルギー放射線発生装置 | 製作者名 |  |
| 型式 |  |
| 台数 |  |
| 定　　格　　出　　力 | 電　子　線 | Mev | Gy/分 |
| エックス線 | Mev | Gy/分 |
| 使用診療室名 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 診療用高エネルギー放射線発生装置及び診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要 | 別 紙 の と お り |
| する医師、歯科医師及び診療放射線技師診療用高エネルギー放射線発生装置を使用 | 氏名 | 生年月日 | 職種 | 放射線診療に関する経歴及び免許番号 |
|  |  |  |  |
| 予 定 使 用 開 始 時 期 | 年　　　月　　　日　　 |

　（表）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 概要　　　　　　　　造設備及び予防措置の障害の防止に関する構射線発生装置の放射線診療用高エネルギー放 | 発生管の容器の利用線すい以外の放射線量（最大値） | mGy/時 |
| 照射終了直後の不必要な放射線からの被ばくを低減するための防護措置 | 有・無 |
| 放射線発生時の自動表示 | 有・無 |
| 使用室の出入口開放時の発生回路開放位保持自動装置（インターロック装置） | 有・無 |
| 診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要　 | 診療用高エネルギー放射線発生装置の１週間の延べ使用予定時間（ビームタイム） |  |
| 主要構造部等の構造 | 耐火構造・不燃材料・その他（　　　　　　） |
| 使　　用　　室　　の　　防　　護　　物 | 区分 | 　　構 造、材 料 及 び 厚 さ（㎝） |
| 天井 |  |
| 周　囲　の　画　壁　等 |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 出入口の扉 |  |
| 床 |  |
| 線量測定口 | 有（　　　　　　　　　箇所）・無　 |
| その他の開口部 | 有（用途　　　　　　　　　）・無　 |
| 操作室 |  |
| 出入口の数 | 通常口　　箇所・その他（用途　　　） |
| 監視用モニター装置等 | 有（　　　台）・その他（　　　　）・無 |
| 装置使用中の自動表示（電源投入時） | 有・無 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 放射線発生時の自動表示 | 有・無 |
| 使用室の標識 | 有・無 |
| 放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示 | 有・無 |
| 放射化物の保管廃棄設備の有無 | 有・無 |
| 使用室でのエックス線装置の使用 | 有・無 |
| 管　理　区　域 | 境界における実効線量（最大値） | mSv/３月 |
| 立入り制限措置 | 有・無 |
| 標識 | 有・無 |
| 敷地の境界 | 敷地内居住区域及び敷地の境界における実効線量（最大値） | μSv/３月 |
| 入院患者の被ばくする放射線（診療により被ばくする放射線を除く。）の実効線量（最大値） | mSv/３月 |
| 取扱者の被ばく測定器具 | フィルムバッジ・ポケット線量計・ＴＬＤ・その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

　（裏）

|  |  |
| --- | --- |
| 診療用高エネルギー放射線発生装置使用室に設置予定のその他の装置 | 有（装置名、型式、用途及び放射線障害予防措置）・無 |